

【ミッションステートメント】「いっしょに歩こう！プロジェクト」～日本聖公会東日本大震災被災者支援

- ① わたしたちは、東日本大震災により困難を負って生きる人々に敬意を払っていっしょに歩きます。
- ② わたしたちは、被災地の方々の生活と地域の再創造に向けていっしょに歩きます。
- ③ わたしたちは、主イエス・キリストが、共に歩いてくださることに励まされていっしょに歩きます。

釜石でも本格的な冬到来。断熱の薄い仮設住宅では寒い生活となっています。先日の教区会では釜石支援センターの海老原さんを囲んでの報告会が開かれました。釜石の現状を知り、継続した支援を行う事を確認すると共に、教区会の議事でも支援活動について熱い議論が交されました。今週7日からは大町司祭のツアーが行われます。クリスマスに向けて忙しい時期ですが、釜石の事を覚えて共に祈りください。

### 【釜石支援報告会 被災地釜石の「いま」を訪ねて】

11月22日(火) 教区会第一日目の夜19:00から、札幌キリスト教会礼拝堂にて、釜石支援報告会が行われました。いっしょに歩こう！プロジェクトのPR用DVDの上映から始まり、釜石の現在の様子を写真と地図を交えながらのお話で紹介。また、前回の報告会以降に釜石に行かれた教役者の方からそれぞれ報告をいただきました。最後に、今回は釜石支援センターのボランティア・コーディネーターの海老原祐治さんにお越しいただき、釜石での最新の状況をお話いただきました。釜石の状況は厳しく、まだまだ継続した支援が必要です。みなさんどうぞよろしくお願ひいたします。尚、当日上映のDVDは、全教会に配布されています。機会を作ってご覧下さい。ダビングもOKです。

### 【拡大震災支援室会議】

教区会後の11月24日(木)、札幌キリスト教会にて、拡大震災支援室会議が行われました。GFSや婦人会、教区事務所スタッフなどが参加し、多岐に渡って話し合われました。特に海老原さんから、現地のニーズや状況について詳しく話を伺い、今後の支援の在り方について協議しました。近々、新たな支援物資リストをお出しできる予定です。これからもどうぞよろしくお願ひいたします。

### 【内海執事・再び着任】(内海執事からの報告)より抜粋

#### 11月25日(金)

本日は午前中大畑東でのお茶っこ・足湯、午後は甲子Bでお茶っこの予定で、9:30に向井さんを大畑東へ送る。その後、10:00からの「幼児礼拝」奉仕のため幼児学園へ、2ヵ月半ぶりの子どもたち、みんな大きくなってのにはビックリ。その後大畑東へ戻りお茶っこサロンにてみなさんと交わりのとき、向井さんは4人の方への足湯のサービスを行い、計5名の方がサロンへ来所。午後甲子B仮設で昼食を取り、「フランス号」の修理ができていたので、ついでにハイエースのタイヤ交換をしてもらうためセンターへタイヤを取りに戻る。その足で「スズキモータズ」でフランス号と交換して甲子B仮設へ。ここでは足湯を行わずお茶っこのみ、期待しておいでのお二人にはまた来週を約束していただく。向井さんのI・Padで歌を楽しみ、みんなで歌う。そこへ「かまいし第九」実行委員会の方が12月11日のポスターを持ってこられ、刺戟されてさっそく「第九」の合唱を楽しむ。そうすると、来所されていたKさんという男性の方が歌詞を知りたいとおっしゃるので、カタカナで書いて差し上げるとたいそう喜ばれた。次回来るときに日本語の訳詞を持ってくることを約束する、午後4時にて終了。

#### 11月26日(土)

午前10時過ぎ、長谷川清純司祭さんが訪問くださる。11時からの幼児学園でのピアノ演奏会のため、ピアニスト・作曲家の稲垣達也氏をお連れくださった由。他に午前中の来所者6名、うち1名がお茶を飲んでお話しをしていかれた。

午後からは明日の主日の準備をしながらセンター業務。5人が来所され、うち4名がお茶っこをして、くつろいでゆかれた。

### 【釜石での働き】

支援室ブログ(海老原祐治さん・向井清子さん発信)より抜粋

#### 11月24日

午後はHさんといっしょにセンター業務。最後までいることはできなかったが、途中、1時間ほどセンターをHさんにお任せして、アッセンブリーオブゴッド教団の支援センター開所式の様子をみてる。

教団の柳谷牧師もいらしていた。アッセンブリーの礼拝には初めての参加となる。賛美の歌がとても多く、お祈りをする時は、言葉の区切りごとに「アーメン！ハレルヤ！主よ、主よ。」という感じであった。小学1年生の男の子も前に出て、中心で賛美を歌っていた。こんな風にお祈りをする人びともいるんだな、と思ったのである。全部で20人くらいの人々が参加しており、様子を見てみると、釜石のアッセンブリー信者によって支援センタ

一ができた訳ではないようである。Hさんにセンターをお任せしていることもあり、牧師先生のお説教の後、途中退席して、センター業務に戻る。

朝、お茶っこを飲みながら聞いた話。当センターに来ていたあるボランティアが、冬物ズボンを欲しがっていたその人に、わざわざ届けてくれたとのこと。話しをしてくれたおばちゃんは、「そんなことまでしてくれる人ってなかなかないわよね。わたし本当に嬉しかったの。」と感心しておっしゃっていました。ボランティアの名前はおっしゃいませんでしたが、わたしにとっても、心が明るくなるような嬉しい話です。

センター業務では、訪問された方はゆっくりと物資をみて選ばれます。そんな中で、「下着がもらえてうれしい」「このセーターぴったり。いいわね」「匂い袋、可愛いわね」と喜んで下さると、わたしも嬉しい。みなさんから、送られた物資はちゃんと、喜びの中で釜石の人々のもとに届いております。

### 11月30日

本日は写真洗浄の一日。今日手掛けた写真はコンディションが悪く、みなさん苦労なさっていました。いわゆる大判のアルバムで、台紙と上貼りのシートが写真と一体化した状態です。写真をアルバムから分離するのに大苦労でした。特にシートからの分離は難航し、シートを付けたまま保存するしか手のない物も多々ありました。しかし写真を裏からドライヤーで乾かすとシートが剥がせることが判明。新たなノウハウを得ることができて幸いでした。後半に手掛けた写真は状態がよく、かなり効率的に洗浄が進みました。クリスマスの写真があり、これが本当の「洗浄のメリークリスマス」なんて。

私は午前にも本郷を訪ね、洗浄済み写真を納品してきました。地区会長と洗浄済み写真を確認すると、その場で写真の持ち主が判明していきます。なかには会長のお隣さんの写真もありました。いつも驚きますが、会長の顔の広さと物覚えのよさには参ります。

あるボランティアの方が言っていました。「私は写真を撮るのも、撮られるのも好きでなかったが、一枚の写真の大切さ、素晴らしさを知ることができた」人にはそれぞれ想いがあります。写真にはその想いが写っています。想いのたくさん写った写真はそれだけでその人のこころの豊かさを表現しています。大事なものがたくさんある人生は豊かです。我々の作業は失くした豊かさの返却なのかもしれません。そして我々はその豊かさに触れてしばしばこころを動かされるのです。

### 12月2日

すべてが凍りつくような寒い朝。札幌は吹雪のようですが、釜石も冬らしい景色。釜石の凍える朝は霜がおります。札幌生活が長かった私は霜を久しぶりに見た気がしました。多分北海道でも霜はあるでしょうが、踏むとざくざく音がする霜は久しぶりの対面です。本州の冬とはご無沙汰でしたので、ざくざくと霜を踏んでちょっとニコニコ。東京生まれの私には懐かしい感触でした。

本日は仮設サロンダブルヘッターの日。大畑東は常連さんが足湯を楽しんでいかれました。暮れの餅つき大会が楽しみだとのお話しで、さっそく当日使う胡桃をお預かりすることに。仮設の下には川があり、その川沿いに胡桃の木がたくさんあります。お母さんたちが拾ってきた胡桃です。ただ謎の動物の糞があり、それがどうやら月の輪熊らしいのです。釜石の大自然恐るべし。

## 【吉野先生と行く釜石年越しの旅】

先日の教区会の折、号外でお知らせしましたが、吉野執事と行く釜石年越しの旅をお知らせします。12月29日～1月4日まで、年末年始を釜石で過ごすプログラムです。社会福祉協議会や、各仮設住宅自治会と連携しての年末年始プログラムなどが活動の中心となります。お問い合わせは震災支援室まで。

## 【いっしょに歩こう！プロジェクト】

「いっしょに歩こう！プロジェクト」の活動の様子は、月一度発行予定の「ニュースレター」や、「いっしょに歩こうプロジェクト！」ホームページ<http://nssk.org/walk>で、ご覧いただけます。

### 【支援室の活動】

インターネットで支援室ブログが見られます。毎日の釜石ベースの活動もアップされます。<http://nsskhokkaido.blog89.fc2.com> 又は、「日本聖公会北海道教区ホームページ」→「東日本大震災」→「震災支援室ブログ」の手順でご覧下さい。

### 【震災支援室より】

- ◎ 支援室ニュースは、各教会において掲示下さると共に、増刷して配布ください。支援室ニュースのバックナンバーは、日本聖公会北海道教区のホームページにでも見る事ができます。
- ◎ 教会や個人での取り組みについても、お知らせください。他の教会の活動の参考になります。

【連絡・問合せ先】 電話：011-561-0451、ファクス：011-736-8377  
Eメールアドレス：saigai@nssk-hokkaido.jp  
釜石ベース：090-6999-7840